

世界劇場会議名古屋 理事長 下斗米 隆様

愛知県の文化ビジョンについて、ご質問をいただきました。以下、ご回答とさせていただきます。愛知県の文化芸術振興については、私のマニフェストでも「愛知プライド世界戦略」として、愛知が誇る文化・歴史を世界に向けて発信していこうとする、政策を打ち出しています。ぜひご参照ください。

1、県の文化芸術振興プランについて

有識者懇談会の報告に基づき、2007年12月に県が策定した「文化芸術創造あいちづくり推進方針」に盛り込まれた基本方向は、おおむね間違っていないと思います。私がこれに付け加えたいのは、京都や秋葉原に並ぶ日本文化発信拠点とネットワークを構築すべく、祭り、武将、城、華、器、食などの伝統文化から、コスプレサミットのようなポップカルチャーを重視。県で実績のある国際女性映画祭を生かした映像創造、デジタルコンテンツなどを含めた文化芸術振興プランとすることです。

2、劇場法と愛知芸術文化センターに関して

季刊「ANET」第68号で、貴会議の下斗米理事長の論稿を拝読しました。「劇場法」というアイデア、ぜひ実現してほしいと思います。そして、「創造する劇場」は、まさに基地芸術文化センターの本来目指した方向であると思います。

3、あいちトリエンナーレについて

上記の有識者会議報告書にも盛り込まれた「国際イベント」が、トリエンナーレという形になってきたもので、昨年の第1回開催が50万人を超える来場者ということで、一応の成功を収めたと評価してよいのではないのでしょうか。「都市の祝祭」というテーマで、街中をステージに含めた現代アートの展示、芸文センターを中心とした舞台芸術、それぞれに「難解」「マニアック」という評価もありながら、「面白い」「楽しい」という評価も少なくありませんでした。基本的には3年ごとに実施する前提でトリエンナーレとしたわけですが、第1回目を様々な角度から、よく検証してみることがまず必要ではないのでしょうか。

以 上

みその慎一郎事務所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-16-29

.052-218-2183 Fax.052-218-2131